



北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月30日 ●事務所/ナシオビル ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <http://www.kitamirc.jp>

第3172回例会・2017年10月11日

本日のプログラム

ゲスト卓話「特殊詐欺の深刻な現状」

北見警察署生活安全課 課長 成田 剛 様

2017~2018年度国際ロータリーテーマ

『ロータリー:変化をもたらす』

R. I. 会長 イアン H.S. ライズリー

第3171回例会(10月4日)の記録

司会 岸本親睦活動委員長

ロータリーソング 奉仕の理想

会長挨拶 舟山会長

今日は職場移動例会という事で、北見カントリークラブへお邪魔させて頂きました。天気も景色も良く、グリーンへ出てみたいと思いました。

昨日、田巻社会奉仕委員長と伊谷環境保全委員長と米山環境保全副委員長と私の4人で、赤い羽根共同募金を、全員が初めての体験をさせて頂きました。首から募金箱をぶら下げて、お金は必ずご本人から入れて頂いて、そして赤い羽根を付けるのですが、今は針ではなくシールなんですね。服によっては、隙間が出来てしまい、その場で風が吹いて飛んでいってしまう、という事もありました。パラボの前で行いましたが、パラボの定休日によって人通りが非常に少なかった中で2時間、その後東クラブにお譲りをしてまた2時間という貴重な経験をさせて頂きました。

そして、今週の6日、7日と網走で地区大会であります。是非とも網走の地区大会を楽しんで頂ければと思っております。



10月3日(火) 赤い羽根共同募金活動
米山会員・舟山会長・伊谷会員・田巻会員

プログラム

「職場移動訪問例会(北見カントリークラブ)」

福地職業奉仕委員長

今回は永田会員より、昨年からお申し出がありまして、「職場移動例会を是非この北見カントリークラブで行って欲しい」という事で、実現する事が出来ました。是非今日の例会をお楽しみ頂ければと思います。



永田 正記 代表取締役社長

会社名は株式会社北見ゴルフ倶楽部で、一般的には北見カントリークラブと呼ばれています。これはゴルフ場の呼称という事になっております。弊社は54年前に網走管内で一番古いゴルフ場として設立致しました。ゴルフ場の入場者についてですが、最盛期は平成3年で、1シーズンで47,000名という入場者がありまして、キャディーも60名程おりました。その後、近隣にゴルフ場が増え始め、今現在オホーツク管内に10コースございます。その10コースの内、パブリックのコースとメンバーズコース、それから自治体が管理して指定管理



者になっているコース等、色々形があります。当クラブはメンバーズコースとして行っています。現在は少子高齢化、景気低迷等がありまして、入場者はピークの1/3迄減り16,000名位かと思えます。キャディーも年齢がどんどん高くなり、半年しか仕事をする期間がないという事で失業保険を取って頂いております。

どのようにこのコースが作られたかと申しますと、昭和38年に発起人7名で株式会社北見温泉ゴルフクラブを設立致しました。その後昭和39年、ゴルファーの急増と共に北見市に本格的なコースを建設したかどうか、という強い要望があり、雄志達で株式会社北見ゴルフ倶楽部という名前に改称致しまして、増資をして本格的なコースを大正地区に建設する事になりました。昭和40年に9ホール造成に着手しまして、昭和41年5月28日にオープン致しました。この年の入場者数は4,389名でありました。昭和44年には北見温泉コースと独立して、留辺蘂のコースは別の会社となりました。昭和45年、9ホールの増設が決定されまして、現在の形になったのが昭和46年であります。昭和63年ですが、亡くなられました三笠宮裕仁親王がご来場されまして、当カントリークラブの名誉会員となって頂きました。そしてまた入場者も増え続けまして、この年初めて40,000人を突破致しました。クラブハウスにつきましては、昭和51年に新築をし、平成5年に増改築をし、現在の施設になっております。昨年50周年を迎えた当クラブであります。利益追求よりも地元市民の健康の為にスポーツ施設として、また社交の場として維持継続していく事を重要としております。



水野 誠 支配人

当社の設立年月日は昭和38年11月22日、代表取締役社長に永田正記となっております。資本金は5,968万円です。従業員数は43名で、正社員4名、季節雇用25名、パート1名、派遣従業員8名、アルバイト5名です。事業内容はゴルフ場経営。敷地面積は109万㎡。ハウスの延床面積は2,203㎡。付帯設備として、ドライビングレンジ250ヤードが14打席、バター練習場、アプローチ練習場を設備しております。主要顧客が北見カントリークラブ会員で、個人会員649名、法人会員112社、その他地元ゴルフ愛好者の方々となっております。コースの営業期間は4月上旬から11月下旬で、日数にしますと約220日程度です。年間来場数は約15,000人程度です。

どのような形で営業しているかと申しますと、現在800名程おります会員の皆様から年会費1シーズン約2,000万円程を頂いております。こちらの方は1シーズン23回公式競技を開催しております。その他主にコース維持に当てさせて頂いております。また、地元企業、団体の皆様にもご協力を頂いております。特に北見3RC様におかれましては、月例コンペを当ゴルフ場で全て開催して頂き、各RCの会員の皆様は当クラブの会員に多数なって頂いております。それから、入場者が年々減少している訳ですが、対策と致しまして、誰でも参加出来るオープンコンペを1シーズン22回開催しております。



【次回10月18日】

会員卓話「米山奨学会の役割」

松田 寿夫 米山記念奨学会委員長

編集後記

一気に秋が深まってきました。体調管理をしっかり行いましょう。

(S.M)

米山記念奨学会とは

日本最初のRCを創立した米山梅吉氏の功績を記念して、東京RCが1952年に米山奨学制度を設定した事から始まります。この事業は、勉学・研究を志して日本に在留する外国人留学生に対し、国際理解と親善を深める為に、奨学金を支給・援助する民間最大の奨学団体です。

2017~2018年度 北見R.C.活動方針

楽しく学び、楽しく実践しよう

2017~2018年度 北見RC

●会長/舟山秀太郎

●幹事/岡村 金司

●週報編集/長屋 恵明